



あなたと博物館

HIRATSUKA CITY MUSEUM

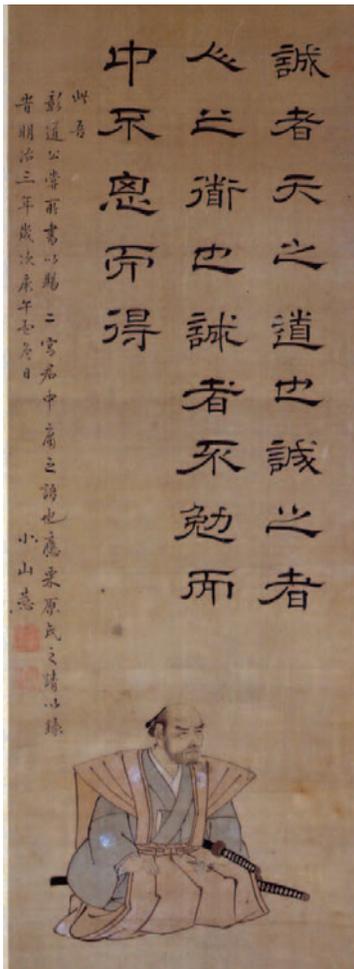
2007. 4月号

春
期
特
別
展

幕末の村おこし

—二宮尊徳と片岡村・克讓社の報徳仕法—

二宮尊徳と報徳仕法



絹本着色二宮尊徳坐像
小田原市 報徳博物館蔵

春期特別展「幕末の村おこし—二宮尊徳と片岡村・克讓社の報徳仕法」(5月6日まで)は、平塚市内の片岡村でおこなわれた村おこしを対象としています。その村おこしは二宮尊徳(金次郎)がはじめた「報徳仕法」というやり方で実施されました。本特別展では報徳仕法を理解するため冒頭で二宮尊徳に関する資料を展示し、また、二宮尊徳と報徳仕法を知るための講演会や史跡めぐりもおこなわれます。

「二宮尊徳」とは？

二宮尊徳(金次郎)は江戸時代後期から幕末にかけて数多くの領主の財政改革や村おこし—報徳仕法—を手がけた農政家です。

二宮尊徳の出自

彼は天明7年(1787)、相模国足柄上郡栢山村(小田原市栢山)の中流農家の子として生まれましたが、幼くして父母を亡くし、困窮のなか努力と工夫で一家再興を成し遂げました。このときの経験が報徳仕法の原点といわれます。

報徳仕法の実施

小田原藩主大久保忠真に見いだされ、文政5年(1822)、大久保家の分家である旗本宇津家の領地復興の命を受け、これに成功します。これ以後、彼の改革事業は報徳仕法として知られ、財政難や村の荒廃に悩む領主や村役人からの要請を受けて数多くの改革事業を実施・指導しました。

幕臣に登用

天保13年(1842)、彼は幕府に登用され、このとき「尊徳」と名乗るようになりました。そして、安政3年(1856)、日光での改革事業の途中、70歳の生涯を閉じました。

「報徳仕法」とは？

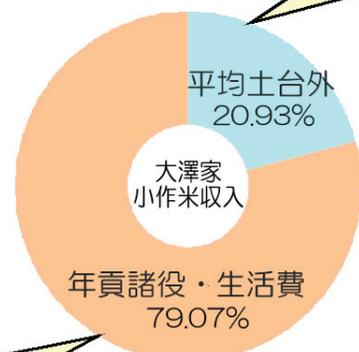
報徳仕法とは二宮尊徳が自己の経験をもとに考案した、財政改革・村おこしの方法・事業をいいます。

報徳仕法の特徴

報徳仕法の特徴の一つは、収入・支出を一定額に定め(分度)、余剰をつくり、その余剰を将来の自己や子孫、村や国のために譲る(推譲)という「分度」—「推譲」の原理にあります。

右図は、片岡村で報徳仕法を実施した大澤家の兄弟が定めた報徳仕法の財源にかんする決まりごとです。ここでは、大澤家は小作米収入のうち、約8割で生活費や年貢など必要経費をまかなうこととし(分度)、残りの約2割を仕法を運営する費用として拠出(推譲)することが定められています。これにより、仕法の永続的な運営をはかりました。

無利息金・助成金などに使う御趣法米として仕法資金に



年貢・生活費にあてるが、生活費は1両1石替えて換算し、相場違いによる差益は非常用意備金にする

4月の春期特別展関連行事

<記念講演会>

第2回：「片岡村・克讓社の報徳仕法—大澤兄弟のネットワーク」

講師：早田旅人（平塚市博物館学芸員）

日時：2007年4月1日（日） 14時～15時30分

第3回：「二宮尊徳の仕事と生涯」

講師：早田旅人（平塚市博物館学芸員）

日時：2007年4月15日（日） 14時～15時30分

※各回とも会場は平塚市博物館講堂

先着80名（13時30分開場）

<史跡探訪会>

「二宮尊徳の生まれ育った栢山村を歩く」

二宮尊徳の生地である栢山に残る尊徳関連史跡と尊徳生家・尊徳記念館を見学します。

日時：2007年4月21日（土） 13時～16時

定員：30名（往復はがきで申込み、応募多数の場合は抽選）

<特別展展示解説>

担当学芸員による解説があります。

4月1日（日）：10時～11時

4月7日（土）：13時30分～14時30分

4月15日（日）：10時～11時



展示解説

平成19年度特別展年間予定（日程詳細は変更になる場合があります）

	月	日	曜日	事業名
2007	3	17	土	春期特別展「幕末の村おこし—二宮尊徳と片岡村・克讓社の報徳仕法」展（～5/6）
2007	7	14	土	夏期特別展「平塚周辺の地盤と地震（仮称）」（～9/9）
2007	9	29	土	秋期特別展「第7回公募写真展」（～10/28）
2008	2	10	日	第9回博物館まつり（～24）
2008	3	15	土	春期特別展「水辺の楽校と相模川の自然」展（～5/6）

プラネタリウム

ほうき星に乗って★

投影日：4月14日（土）～5月27日（日）

毎週土・日曜日 11:00、14:00

（ただし5月5日（土）14:00の回をのぞく）

太陽系のはるか辺境からやってくる謎の多い天体、彗星。その代表といえばハレー彗星でしょう。76年の周期で長い楕円の軌道を巡る大彗星です。

彗星が過ごす時間は、太陽から遠方がほとんどで、接近し長い尾をたなびかせるのはほんの一時にすぎません。彼らが、長い長い旅路で出会うのはどんな星空、どんな光景なのでしょう。

地球から、太陽から、そして彗星から、立体的な視点で彗星の旅路をながめてみます。



ハレー彗星（1986年5月）

おもしろいをみつけよう

こどもフェスタ 2007

5月6日(日)開催!

昨年のGW(ゴールデンウィーク)に実施し、大好評だった「博物館こどもフェスタ」(二日間で、なんと二千人以上のお客さまがご来館)。今年も5月6日(日)9時~17時に実施します。Jr.向け参加体験型の催し物を盛りだくさんに用意してお待ちしていますので、GW最後の日は博物館へいらしてくださいね。

当日は、朝から夕まで館内外のあちこちでイベントがくり広げられます。どんな催し物を予定しているのか少しだけ紹介します。

たくましい古代人に憧れる少年少女は、古代舞い切り式の火起こし体験、弓矢で的を射る弓矢体験、縄文人の衣服をあむアンギン作りなどの古代メニューに参加して、生きる知恵を学びましょう。

勤勉な二宮金次郎にあやかりたい子は、野良着で金次郎体験などいかがでしょう。本物の野良着を着て、薪を背負って歩いたら、気分はすっかりむかしの子ども。

むかしの遊びコーナーでは、竹馬、大山ごま対決、けん玉、お手玉、あやとりなどを民家で一日中体験できます。昼でも見られる星って何星?屋上で昼間の星を見ように参加して、正体を見つけてみませんか。ただしこれは曇っていたらごめんなさい。

この他、博物館周辺の石材めぐり、自然素材を使ったクラフトづくり、こども向け展示解説なども予定しています。博物館前では博物館太鼓連がにぎやかに太鼓を叩いてお祭り気分を盛り上げる予定です。飛び入り参加も歓迎です。

いずれの行事も申込は不要で、自由に参加できます。時間や内容などは、「あなたと博物館」5月号と「こどもフェスタ」パンフレットで詳しくお知らせします。どうぞご期待ください。(行事内容は変わる場合があります)



昨年の催しより(火起こし体験)

寄贈品コーナー

新着資料展(自然部門)

自然部門で新たに採集・購入や寄贈していただいた資料を展示します。鳥類剥製、寄贈図書、火山弾等火山噴出物など。

(4月30日まで)



ヒシクイ(剥製)

ミニ文化祭

なでしこ小学校総合学習展(古代体験)

なでしこ小学校6年2組(18年度)が総合学習の授業で、住居の模型や木の実のクッキー作りなど古代体験をしました。その成果発表の展示です。(4月いっぱい展示します)



展示作業風景

博物館カレンダー

2007年4月と5月の行事

4	水	☆ 寄贈品コーナー「新着資料（自然）」～4/30	博物館
5	木	展示解説ボランティアの会	特研究室
6	金	古文書講読会	講堂
7	土	○ 館長の自然講座	講堂
		☆ プラネタリウム「4月の星空ナビ」	プラネ
8	日	地質調査会	特研究室
		平塚の古代を学ぶ会	講堂
		古代生活実験室	科学室
12	木	石仏を調べる会	特研究室
13	金	古文書講読会	講堂
14	土	地質調査会	屋外
		◎ 漂着物を拾う会	虹ヶ浜・科学室
		☆ プラネタリウム「ほうき星に乗って」～5月27日まで	プラネ
15	日	水辺の楽校生きもの調べの会	屋外
		◎ ろばたばなし	民家
18	水	裏打ちの会	科学室
		民俗探訪会	講堂
19	木	展示解説ボランティアの会	特研究室
20	金	古文書講読会	講堂
21	土	○ ツバメ調べ（ガイドンス）	講堂
		博物館太鼓連	講堂
		天体観察会	屋上・科学室
22	日	相模川の生い立ちを探る会	駿河小山
26	木	石仏を調べる会	山下
27	金	古文書講読会	講堂
28	土	地域史研究ゼミ	特研究室
		平塚の空襲と戦災を記録する会	特研究室
		星まつりを調べる会	特研究室

2	水	☆ 寄贈品コーナー「新着資料（人文）」～5/30	博物館
5	土	☆ プラネタリウム「5月の星空ナビ」	プラネ
6	日	◎ 博物館子どもフェスタ	館内外
		平塚の古代を学ぶ会	科学室
		古代生活実験室	科学室
		◎ 星を見る会	屋上・科学室
		天体観察会	屋上・科学室
		第2回子どもフェスタ	博物館
10	木	石仏を調べる会	山下
11	金	古文書講読会	講堂
12	土	地質調査会	屋外
		◎ 漂着物を拾う会	虹ヶ浜・科学室
13	日	水辺の楽校生きもの調べの会	屋外
16	水	裏打ちの会	科学室
		民俗探訪会	講堂
17	木	展示解説ボランティアの会	特研究室
18	金	古文書講読会	講堂
19	土	○ 自然観察ウォーキング	野外
		博物館太鼓連	講堂
		星まつりを調べる会	野外
20	日	相模川の生い立ちを探る会	小田原
		◎ ろばたばなし	民家
24	木	石仏を調べる会	高根
25	金	古文書講読会	講堂
26	土	地質調査会	科学室
		地域史研究ゼミ	特研究室
		平塚の空襲と戦災を記録する会	特研究室
		○ 遺跡を歩く会	屋外
27	日	◎ プラネタリウムで宇宙を学ぶ会	プラネ
		天体観察会勉強会	科学室

<展示とプラネタリウム>

☆春期特別展「幕末の村おこし - 二宮尊徳と片岡村・克讓社の報徳仕法」

日時：～5月6日（日）（4月30日は開館していません）

《関連行事》詳細は2ページをごらん下さい

- ・記念講演「二宮尊徳の仕事と生涯」
- ・史跡見学会「二宮尊徳の生まれ育った栢山村を歩く」
- ・展示解説

☆寄贈品コーナー「新資料紹介・自然部門」

日時：4月4日（水）～4月30日（月）

☆ミニ文化祭「なでしこ小学校総合学習展」

なでしこ小学校平成18年度6年2組の展示。

☆プラネタリウム「隣の星へ」

日時：～4月8日（日）

☆プラネタリウム「ほうき星に乗って」

日時：4月14日（土）～5月17日（木）

土日曜日11時、14時

（4月7日と5月5日午後2時の回をのぞく）

観覧料：100円（中学生以下無料）

☆プラネタリウム「今月の星空ナビ」

当月の天文現象の解説をします。

投影日：4月7日（土）、5月5日（土）午後2時の回

<参加者募集>

◎漂着物を拾う会

海岸に流れ着いた物から、来歴を推理したり、自然環境を考えます。

日時：4月14日（土）9時30分～11時

場所：平塚虹ヶ浜海岸

参加：自由（初めてのの方は往復はがきで申し込むこと）

◎ろばたばなし

民家の囲炉裏端で昔話を聞いてみませんか。

日時：4月15日（日）(1)13時20分～(2)15時～

場所：展示室民家

参加：自由

○みんなで調べよう「ツバメ調べ」

市内に生息するツバメの巣を調べます。

日時：4月21日（土）ガイドンス 10時～12時

7月22日（日）まとめ 13時～16時

場所：講堂

参加：往復ハガキに必要事項を記入して4月10日（必着）までに申込。定員30人。

☆：展示、プラネタリウム ○：申込制 ◎自由参加 無印：年間会員制

あなたと博物館 34巻1号 通算364号 発行 平塚市博物館 2400
〒254-0041 平塚市浅間町12-41 Tel:0463-33-5111 Fax:0463-31-3949
E-Mail:muse@city.hiratsuka.kanagawa.jp ホームページ <http://www.hirahaku.jp/>